

1 新・相模原市総合計画（案）について

（説明者：企画部長）

（1）主な意見等

- 総合計画の策定方針の中で実施計画の策定について掲げていたが、基本計画と同時期での策定についてどのように考えるのか。
 - 基本計画に合わせて平成22年度からの実施計画を策定する予定であったが、政権交代による国の制度変更など、税財政に大きな影響を与える環境変化が起こりうる可能性が高いことを勘案するものである。
今後、国の動向を見据え、経済情勢などを総合的に判断した上で、平成22年度中に実施計画の策定について検討していく。
- 総合計画の下には部門別の計画が位置付けられ、個々に策定作業が進められていると思う。部門別計画によっては実施計画を合わせて策定する事例があるが、総合計画との整合性ははかられているのか。
 - 個々の計画により異なる判断があって然るべきだと考える。個別計画の実施計画の内容把握を行い、総合計画との不整合が生じないように調整を行っていく。
- 総合計画審議会の中では、財政の見通しについて示して基本計画の答申を受けたことを考慮すると、現状では、財政の見通しが立てにくいという課題があるが、答申時点での資料として参考掲載するということについて検討すべきと考えるが。
 - 答申時点での資料として参考掲載するのであれば可能だと思われるが、その点の問題点などについて、改めて検討する。

（2）結 果

- 方向性を了承。
課題の整理に努める。

以 上